

クロアチア情勢(2019年9月)

在クロアチア日本国大使館

1. クロノロジー

【内政】

11日	8月に「クロアチアが地域における不安定要因になりつつある」等と発言し与党との軋轢が報道されていたプポバツツ独立民主セルビア党(SDSS, 閣外協力政党)党首は、現政権への支持を終了するとは決定していないと発言。
	クロアチア民主同盟(HDZ)のコバチ議員が、明年5月に予定されているHDZ党首選への立候補を発表。
15日	クロアチア社会自由党(HSLS)の中央委員会は、コソル党首による与党との協力終了の提案を退け、閣外協力政党にとどまる決定を下した。
17日	利益相反委員会が、13日にプレンコビッチ首相等に対し、欧州人民党(EPP)ヘルシンキ党大会に出席した際の渡航費等の支払いを巡り捜査を開始すると発表したことに、同委員会の権限逸脱を訴えるメディア報道を受け、関連国際機関(欧州評議会対汚職グループ(GRECO)等)と協議を開始する旨発表。
18日	クロアチア議会の秋季会期が始まった。
19日	野党議員によるクンジッチ保健相の不信任投票動議の提出を受け、政府は、同動議を棄却するよう議会に対し提案。
19日	年金受給開始年齢の引き上げに反対する労働組合等が、関連法の改正を求めて国民投票を集め、同署名を議会に提出していた件に関し、19日、プレンコビッチ首相は、同労働組合等による提案を支持し、関連法の改正(年金受給開始年齢を現行の67歳から65歳に戻すための年金基金法改正と、労働者が65歳以降も仕事を続けたいと希望する場合はこれを認めるとする労働法改正)を行う旨発表。
25日	(上述のSDSSやHSLS内の動きを受けて、)連立与党及び閣外協力政党党首が非公式会合を行い、議会における過半数の維持について議論した。
	政府は、多目的戦闘機調達のための部門間委員会を開催し、これまでに5通の新品戦闘機に関する応札意向書、8通の中古戦闘機に関する応札意向書を受領した旨発表。
28日	イストラ民主会議(IDS)は、ミラノビッチ元首相(最大野党の社会民主党(SDP)から出馬表明)を次期大統領選挙候補として支持することを発表。
29日	クロアチア労働党(議会外政党)は、ミラノビッチ元首相を次期大統領選挙候補として支持することを発表。
30日	クロアチアのシュイツァ次期欧州委員会副委員長候補が、欧州議会での聴聞会に先立ち、金融資産申告書を公表。

【外交】

1日	グラバル＝キタロビッチ大統領は、ワルシャワにて、第二次世界大戦80周年記念式典に出席。
4日	グラバル＝キタロビッチ大統領、ファン・デア・ベレン墺大統領、バホル・スロベニア大統領の3者は、6回目となる年次3か国大統領会談をクロアチアのシベニク市で開催。
	ブロック蘭外相がクロアチアを訪問し、プレンコビッチ首相及びグルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相と会談。
7日	クロアチア・セルビア国境において、セルビア軍代表団のクロアチアへの入国が、正式な通告がなかったとして、拒否された。
9日	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相は、駐クロアチア・セルビア大使を召致し、セルビア軍による正式な通告なしのクロアチアへの入国の試みを不法であるとして抗議。同大使は、右抗議文の受け取りを拒否した。
	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相がドイツを訪問し、マース・ドイツ外相と会談を行った。
10日	フォン・デア・ライエン次期欧州委員長により、シュイツァ欧州議会議員（欧州人民党）が次期欧州委員会副委員長（民主主義・人口動態担当）に正式に指名された。
13日	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相は、オーストリアを訪問し、シャレンベルク墺外相と会談を行った。
16日	ブラディミル・ドロブニャク前国連常駐代表が、プレンコビッチ首相の新外交顧問に就任。
18日	ペイチノビッチ＝ブリッチ前副首相兼外務・欧州問題相が、欧州理事会の新事務総長に就任。
20日 ～25 日	グラバル＝キタロビッチ大統領及びグルリッチ＝ラドマン外相が、第74回国連総会に出席するために米国を訪問。
25日	クロアチアとマーシャルが、外交関係を樹立。
26日	ツェラル・スロベニア外相は、スロベニアはシェンゲン圏を拡大することには賛成だが、クロアチアが加盟する為には、法の支配を尊重しなければならない旨発言。
	欧州人権裁判所（ECHR）は、クロアチアの欧州逮捕状発行によって活動の自由が侵害されたとするハンガリーの石油会社MOLのヘルナディ会長兼CEOの告訴を棄却。
	プレンコビッチ首相は、ブリュッセルを訪問し、ユンカー現欧州委員会委員長、フォン・デア・ライエン次期欧州委員会委員長及びシュイツァ次期欧州委員会副委員長と個別に会談を行った。

27日	プレンコビッチ首相は、シラク・元フランス大統領の逝去に際して、追悼の意を表明。
	プレンコビッチ首相は、ブリュッセルで行われた欧州連結性フォーラムに出席。同フォーラムには安倍総理も出席し、同首相と懇談。
28日	クロアチアは、ブリュッセルにおいて、トウスク欧州理事会議長と会談し、2020年前半のEU議長国就任時の優先事項を提示した。
30日	クルシュコ原子力発電所に関するスロベニア・クロアチア委員会は、スロベニアのブレッドで会合を行ったが、クルシュコに近いブルビナに共同放射性廃棄物貯蔵施設を建設する案の合意には至らなかった。よって、スロベニアとクロアチアは、それぞれ自国の貯蔵施設建設を目指す活動を継続する。

【経済】

2日	3Maj 造船所は、債務の大半（1.1億クーナ（約18億円）、債務全体の82%相当）について返済を先送りすることで、サプライヤー及び下請け会社と合意・署名。
	クロアチア復興開発銀行は、3Maj 造船所に対し1.5億クーナ（約24億円）を融資することを決定。
3日	ザグレブ市は、ザグレブ市開発計画（ザグレブ・マンハッタン）に関して、UAE企業 Eagle Hills Properties との間で覚書に署名したことを発表。
4日	看護師及び医療技術者の公務員労働組合は、賃金の引上げや労働環境の改善を求めてザグレブ、スプリット、ドブロブニクの各市でストライキを実施。
10日	プレンコビッチ首相は、ホイヤー欧州投資銀行総裁とザグレブにて会談を行い、同金融機関の協力に満足の意を表明。
	クロアチア炭化水素庁は、ディナル・アルプス地域における石油・ガスの探査及び開発ライセンス付与のための入札を実施し、1社の応札があったと発表。
12日	クロアチア財務省は、2019年上半期の税収について、前年同期比4.8%増となったと発表。安定した経済状況の下で個人消費が伸び、VAT 収入が伸びたことなどが背景。
13日	政府と医療部門公務員労働組合は協議を行い、9月1日時点から医療部門従事者の給与を7%引き上げることに合意し、労働協約に署名。
17日	クロアチア復興開発銀行と国内3金融機関は、地域開発に取り組む農業従事者を支援するため、総額5億クーナ（約80億円）の特別融資プログラムを実施することで合意。
18日	ペリエシャツ橋への連絡道路の建設を巡り、クロアチア政府公共入札監視委員会（DKOM）は、ギリシャの建設会社 J&P Avax 社（南側の連絡道路の建設を応札）による応札は不適格だとする、奥のシュトラバグ社（北側の連絡道路の建設を応札）の不服申し立てを棄却。

	最高裁判所は、スイス・フラン建てローンに関する裁判(2015年初めのスイス・フランの急騰に伴いスイス・フラン建て債務者の利払い負担が増加したことを受け、債務者が、銀行側によるローン利用者の集团的利益と権利の侵害の認定を求めていた裁判)で、銀行側による再審請求を退け、債務者に有利な判決を下した。債権者による団体「Frank association」は、同最高裁判決を受け、2023年までにスイス・フラン建てローンに関し銀行側に対して損失補填を求める訴訟が10万件超になると予測。
19日	ペリエシャツ橋への連絡道路の建設を巡り、クロアチア政府公共入札監視委員会(DKOM)は、塙のシュトラバグ社(北側の連絡道路の建設を応札)による応札は不適格だとする、ギリシャの建設会社 J&P Avax 社(南側の連絡道路の建設を応札)の不服申し立てを棄却。
	政府は、クロアチア復興開発銀行及び国内金融機関の3Maj 造船所に対する融資に関して、2600万ユーロ(約30億円)の政府保証を付与することを閣議決定。
26日	シュトロマル建設・都市計画大臣は、若者や初めて住居(自家用)を購入する市民を対象とする住宅ローン補助制度について、今期の応募期間を延長(10月4日まで)することを発表。
	政府は、クロアチア航空による資本増強を承認するとともに、同社の事業安定化のため政府が2.5億クーナ(約40億円)の資金を供与することを閣議決定。2019年中に1億クーナ(約16億円)、2020年に1.5億クーナ(約24億円)を供与する予定。
	政府は、閣議において、「State Aid Report for 2018」報告書を承認。2018年に民間部門に供与された政府補助は総額148億クーナ(約2400億円)となり、前年比18.8%増。
30日	クンジッチ保健相と医薬品卸売事業者団体は、公立病院の医薬品卸売業者に対する未払い債務について、クロアチア健康保険基金(HZZO)が本年中に5億クーナ(約80億円)を支払うこと、また、最初の支払いとして10月に3億クーナ(約48億円)を支払うことで合意。